

# 地震峠 (鳥屋)

津久井さんぽ④

100年前の大正12年(1923年)9月1日に関東大震災が起こり、その際に鳥屋の馬石地区で南山が崩れ山津波が発生し、9件の民家が飲み込まれました。串川がせき止められ、湖のようになったそうです。多くの行方不明者が出ましたが、その時に助け出されたのは3才の女の子ひとりだけだったそうです。そんな災害があったことをご存じでしょうか？その地震峠には国土地理院の自然災害伝承碑が立っています。地蔵尊・案内板・犠牲になった方々の名前が刻まれた慰霊碑が自然林の中にひっそりと立っています。

被災の後、犠牲者の家族が祀り守っていましたが、約10年前より防災の重要性や伝承の大切さから地域の皆様の協力で「自然災害伝承碑地震峠を守る会」を中心に活動しているとのこと。最近ではNHKの番組にも取り上げられ放映されました。また津久井高等学校の漫画研究部の生徒さんも地震峠の災害に興味を持ち漫画を製作し、9月1日の防災の日が発行されることになりました。なかなかの出来栄です。

防災の日を機に、近くにある被災地を訪ねて防災について考えてみては如何でしょうか？

(白井)



## ふくしの集い

新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から中止となっていた『ふくしの集い』を、10月に開催いたします。規模は縮小しますが、観て聞いて楽しい落語や演芸、触れて学ぶ福祉体験など催しものを予定しています。ご来場お待ちしております。

日時：10月21日(土) 午前10時～午後1時

会場：津久井中央公民館全館

津久井老人福祉センター(公民館2階)



(第13回のような)

みんなで来てね!

### 広報委員

白井・伊藤・斎藤  
久保田・佐藤

### 編集後記

今号では2ヶ所のやすらぎステーション取材しました。夏休みということもあり、子ども達が参加してくれたり「くるみ」さんが場を盛り上げて下さった事で、とても楽しく過ごす事ができ、どこも温かな雰囲気にもなっていました。

また、津久井さんぽでは「地震峠」について紹介しました。皆さんが、津久井の歴史にふれるきっかけにして頂けたら幸いです。一度ぜひ足を運んでみては、いかがでしょうか。(久保田)



津久井地区社会福祉協議会

発行  
津久井地区社会福祉協議会  
相模原市緑区中野633  
(相模原市社会福祉協議会  
津久井地域事務所内)  
電話:042-764-3393

## 令和5年度 津久井地区社会福祉協議会 定期総会 (報告)

令和5年5月24日(水)津久井中央公民館ホールにて定期総会を開催し、全ての議案が賛成多数で可決・承認されましたので報告いたします。

長きにわたり会長を務めてくださった今井俊昭さんが退任され、新たな役員が選出されました。役員体制は以下のとおりです。

### 就任あいさつ 新会長 佐藤 園子

『向こう三軒両隣』若い方々には、耳慣れない言葉でしょう。「近所に暮らす者どうし助け合うのは当然」と言う古くから日本に伝わる教訓です。そして、これは津久井地区社会福祉協議会(以下、地区社協)活動の柱として受け継がれる言葉でもあります。少子高齢化の不安は高まり、改善出来ない交通事情、買い物難民等々、私達を取り巻く問題は山積みです。でも、住み慣れた町で安心して暮らしたい。暮らして頂きたい。



皆様と各種課題を共有し、地域の安全と活性化を図るのが地区社協の務めだと考えています。お隣さんに声をかけるように、気軽にご意見をお寄せ下さい。

私は、今年から地区社協の会長職を務めることになりました。今井前会長の偉大な後姿は遥か遠く……。でも、そう言う事を言い訳には出来ないと考えています。一生懸命勤めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

### 退任にあたって 前会長 今井 俊昭

皆様、相模原市と合併以来今日まで17年間の長きにわたりご支援、ご協力をいただきありがとうございました。この間、幾多の試練が有りましたが皆様のご助力で大過なく各種の事業を行うことが出来ました。改めて感謝を申し上げます。今まさに、コロナ禍で地域の住民同士の触れ合いが減少しつつ有る中、地域福祉の根幹であります「助け合い、支え合い、労り合い」を皆様に再度取り組んでいただき、旧来実践されていた当地区の誇れる「向こう三軒両隣」的な大家族的なふれあいで、地域社会におけるつながりをゆるぎない絆で深めていただきたいと思います。

退任にあたって、大変恐縮ですが皆様に希望を述べつつご挨拶とさせていただきます。終わりに、新役員の皆様へのご支援、ご協力をも併せてお願い申し上げます。

会 長…佐藤 園子(有識者)	理 事…井上 宣明(自治会連合会)	理 事…新井 昌明(鳥屋支部長)
副 会 長…柳川 要造(青根支部長)	理 事…畑野 清司(老人クラブ連合会)	理 事…西川 紀子(福祉ボランティア)
副 会 長…立川 直子(民児協会長)	理 事…上田 亜弓(三井・名手支部長)	監 事…関戸 仁(自治会連合会)
副 会 長…尾崎 洋子(青野原支部長)	理 事…岡 義夫(小網支部長)	監 事…岩城 美野(民児協)
会 計…白井 英子(有識者)	理 事…佐々木 稔(中野支部長)	顧 問…今井 俊昭(有識者)
常任理事…廣瀬 市郎(有識者)	理 事…高橋 章太(又野支部長)	
常任理事…大塚 優子(有識者)	理 事…八木 一(中央支部長)	
常任理事…小野沢はつ子(有識者)	理 事…川口 義文(串川支部長)	

### 令和5年度

### 津久井地区社協理事の紹介

※(順不同・敬称略)

地区社協運営事業

- ◎福祉推進員会議  
各地区ごと(7会場)にて会議を行い、社協会員の加入促進を図る。開催時期：6月
- ◎地区社協9支部への運営費助成  
地区9支部に運営費助成を行う。
- ◎相模原市地区社会福祉協議会  
相模原市地区社協への参加協力

子育て支援事業

- 子育て中の親同士の横のつながりや、それを支える子育てを終えた世代・地域との交流を深めることを目的に開催。
- ◎こども食堂開催の支援
- ◎津久井地区子育て情報紙の発行『つくつくいっこ』

令和5年度 津久井地区社協 事業計画

ふくしの集い事業

住民の福祉理解と参加を図ることを目的として開催。内容については、社会情勢を鑑みて企画・開催する。

(仮)かんたんクッキング教室

企画準備中

いきいきサロングループ運営活動助成

高齢者、子育てサロン活動を実施している地区内のサロングループに運営活動助成を行う。

地区社協広報紙の発行

津久井地区社会福祉協議会広報紙『きずな』年2回発行。津久井地区自治会連合会「地域情報誌」の紙面を活用し、地区社協及び地区社協支部活動のPRを行う。

SDGsへの取り組み

津久井地区社会福祉協議会としてのSDGsへの取り組みについて検討、推進する。

ボランティア育成講座

ボランティア育成を目的とした各種講座の開催

福祉コミュニティ形成事業

テーマ：「高齢者等見守り事業」「高齢者いきいきサロン・子育てサロンの推進」

災害ボランティア支援隊事業

津久井地区に災害ボランティアセンターが設置された際のセンター運営への協力、及び防災減災に対する情報発信を行う。

9支部地域の活動紹介

小網地域

7月、猛暑日の一、小網地域センターには88名の方が集まっていました。夏休みを利用して年1回育成会の子どもたちも参加してのやすらぎステーションです。

お誕生月の方のお祝いから始まりました。そして、大沢ひよつとこ笑福会の方々による赤城の子守唄・阿波踊り・日向ひよつとこ踊りなどを鑑賞。荒城の月や青い山脈など、懐かしい曲は全員が口ずさみます。子どもたちは初めて聞く歌だったかもしれません。

会も終わりに近づき炭坑節は会場が盛り上がりました。恥ずかしがりながらも…子どもたちも踊りの輪に加わります。

楽しい時間はアツという間に過ぎてしまいます。皆さん同じ気持ちだったのでしょ。フィナーレの後もにぎやかにおしゃべりは続いていました。世代を超えての交流は楽しく有意義なひとときとなったことでしょう。

(斎藤)



つくいのボランティアグループ

津久井で活躍しているボランティアグループを紹介します!



やすらぎステーションなどでもおなじみの「くるみ」さん。

津久井・相模原合併後、社協での経験を活かし2012年に社協からボランティアへと移行して、代表の隣さん、熊田さん、門田さん、角崎さんの4人で活動しています。ゲームなども4人で考案し、季節ごとに一新。様々な工夫をして楽しませてくれています。音楽を取り入れるのが活動当初からのコンセプト。今回、取材に伺ったのは青根のやすらぎステーション。「いつもの」くるみ体操に始まり、脳トレ体操やダンス、魚釣りゲームなどで大いに盛り上がり、最後はリクエストの歌を皆で歌って参加者さんの笑顔も満開。

「任せて安心」の「くるみ」さん。頼もしい私たちの味方です。

(伊藤)

ボランティアグループ『くるみ』